

様式第17 (第8条関係)

①
 製造所
 貯蔵所
 取扱所

危険物 廃止届出書

年 月 日	
(宛先) 富山市長	
届出者	
住所 ② (電話)	
氏名	
設置者	住所 ③ 電話
	氏名
設置場所 ④	
設置の許可年月日及び許可番号 ⑤ 年 月 日 第 号	
設置の完成検査年月日及び検査番号 ⑥ 年 月 日 第 号	
製造所等の別 ⑦	貯蔵所又は取扱所の区分
危険物の類、品名(指定数量)、最大数量 ⑧	指定数量の倍数
廃止年月日 ⑨ 年 月 日	
廃止の理由 ⑩	
残存危険物の処理 ⑪	
※ 受付欄	※ 経過欄

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。
- 4 ※印欄は、記入しないこと。

【危険物（製造所・貯蔵所・取扱所）廃止届出書記載要領】

根拠条文：省令第8条

- ①届出書名称の製造所・貯蔵所・取扱所は、該当する施設以外を二重取消線で抹消する。
。
- ②「届出者」の欄は、原則として製造所等の設置者の住所、氏名、電話番号を記入する。届出者が法人の場合は、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地、電話番号を記入する。
- ③「設置者」の欄は、製造所等の設置者の住所、氏名、電話番号を記入する。
- ④「設置場所」の欄は、製造所等の所在地を記入する。
- ⑤「設置の許可年月日及び許可番号」の欄は、製造所等の設置許可年月日及び許可番号を記入する。
- ⑥「設置の完成検査年月日及び検査番号」の欄は、製造所等の設置の完成検査年月日及び検査番号を記入する。
- ⑦「製造所等の別」の欄は、「製造所」、「貯蔵所」、「取扱所」の区分を記入する。
「貯蔵所又は取扱所の区分」の欄は、「地下タンク貯蔵所」、「給油取扱所」等の細区分を記入する。（製造所の場合は斜線を記入する。）
- ⑧「危険物の類、品名（指定数量）、最大数量」の欄は、類、品名、指定数量、最大数量及び指定数量の倍数を記入する。
多数の品名にわたるときで同欄に記入できないときは、「別紙のとおり」と記入し、別紙に詳細を記入し、添付する。
指定数量の倍数は、倍数の合計を小数点以下第2位を切り捨てた数値を記入する。
- ⑨「廃止年月日」の欄は、届出日以前の日付を記入する。
- ⑩「廃止の理由」の欄は、廃止した理由を簡潔に記入する。
（例）廃業
（例）ガス燃料機器への更新
- ⑪「残存危険物の処理」の欄は、「別添安全計画書のとおり」と記入し、安全計画書を添付する。

安全処理（計画）書

残液危険物
処理方法

①

残留引火性
蒸気処理方法

②

他用途への
転用の有無

③

その他必要と
認める事項

④

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

【危険物（製造所・貯蔵所・取扱所）廃止届出書に添付する安全処理（計画）書記載要領】

参考通知：「地下貯蔵タンクの用途廃止に係る安全管理指導について」（H3. 7. 11 消防危第78号通知）

「危険物施設の廃止に伴う作業等の安全対策について」（H11. 11. 8 消防危第103号通知）

「危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令等の施行について」（H17. 1. 14 消防危第14号通知）

①「残液危険物処理方法」の欄は、次の例により記入する。

反応槽を持つ製造所を廃止する場合

（例）反応槽及び配管はすべて危険物を抜き取り、洗浄し、窒素置換した後にすべて撤去する。

移動タンク貯蔵所の廃止の場合

（例）バキューム車にて吸い上げた後、タンク内蒸気洗浄後、中和処理する。

②「残留引火性蒸気処理方法」の欄は、次の例により記入する。

反応槽を持つ製造所を廃止する場合

（例）反応槽及び配管はすべて危険物を抜き取り、洗浄し、窒素置換した後にすべて撤去する。

移動タンク貯蔵所の廃止の場合

（例）バキューム車にて吸い上げた後、タンク内蒸気洗浄後、中和処理する。

③「他用途への転用の有無」の欄は、次の例により記入する。

（例）非危険物タンクへ転用

（例）スクラップ処理し、転用なし

④「その他必要と認める事項」の欄は、次の例により記入する。

完成検査済証を紛失した場合の追記

（例）完成検査済証は紛失しており、発見しだい、提出します。